



校長室だより 2

黒部市立村椿小学校

文責：校長 寺島紀子

令和7年5月30日

第7号

このところ6年生が「1年生を楽しませ隊」として休み時間に1年生との交流を続けています。28日（水）の昼休みは体育館で鬼ごっこをしていました。1年生は毎回希望者のみのということですが、この日はほとんどの子が参加していたようです。皆でキャーキャーと楽しそうでした。

「楽しい学校にするために」と6年生が自分たちで考えたことを形にしている姿はとても頼もしい！と感じます。こうした活動をこれからもどんどん展開していったほしいと願います。

話したくなる話 聞きたくなる話 ～玉椿集会から～

★「話したくなる話」がある幸せ

26日（月）は4・5月の（今年度1回目）玉椿集会でした。玉椿の3つのK（1K：助け合う子、2K：よく考える子、3K：元気でやりぬく子）に向けて日々頑張っていることを、自分の声で伝える大切な集会です。

この日も1年生から順に受賞者がスピーチをしました。1年生は初めての体験でしたが、2名がそれぞれ「わくスタノートに進んで取り組んでいること」「係の仕事を忘れずにしていること」を発表しました。しっかりと練習して本番に臨んでいることが伝わります。堂々とした態度に感心しました。

4年生以上は友達の頑張りを紹介します。5年生は「〇〇さんは連合体育大会に向けて練習を頑張っています」「～委員会活動に一生懸命取り組んでいます」「僕も見習いたいです」などと隣に立つ友達のことを手で示しながら紹介し、自分の感想も加えて話していました。

自分が頑張って取り組んだことだからこそ伝えたくりますし、身近な友達の素敵な姿だからこそ、全校の皆に紹介したいと思えるのだろうと思います。一人一人の中に「話したくなる話」があることは幸せなことです。

★楽しんで聞きたい「先生のお話」

玉椿集会の締めくくりは「先生のお話」です。昨年度までは「校長先生のお話」でしたが、今年から私の希望でいろいろな先生方に順番に話してもらうことにしました。内容は「おまかせ」です。

初回は1年担任の石井先生でした。先生はなんと、体育館の端から竹馬に乗って登場しました。その後は、石井先生自身が小学校低学年の頃に何度も練習して竹馬が上手になったこと、竹馬が上手な上級生にコツを教えてもらいながら練習したこと、周りの友達も「もうちょっと！」などと応援しアドバイスしてくれたこと等を、順序立てて語りかけるように話しました。楽しい内容に、子供たちは身を乗り出し、時折手を上げて反応したりうなずいたりしながら聞き入っていました。もちろん私も初めて聞く話で興味津々で聞きました。

石井先生は最後に「だから、先生の伝えたいことは『失敗を恐れずに頑張ろう！』ということです」と結び、再び竹馬に乗って退場していきました。最後まで楽しい「先生のお話」タイムでした。

おもしろい話は自然と集中して聞くことができますね。次の回も楽しみです。

★この「校長室だより」のカラー版は本校のホームページをご覧ください。★ご意見、ご感想などをお知らせください。お待ちしております！

校長室だよりへの感想

切り取り

できればお名前 or 児童名（

）



5/27(火)黒部市小学校連合体育大会

待ちに待った連体が予備日の27日(火)によりやく実施となりました。本番に向けて4月から練習に励んできた5・6年生はこの日全員が出席し、宮野山での競技と応援に参加することができました。

全員参加の100m走と50mハードル走では、各走回の1位にのべ21名が入賞しました。また選手種目では、走高跳、走幅跳、ボール投げ、中距離走と4つの種目で8名が上位(市内全体で上位6位まで)入賞しました。

練習の成果を出し切れたという子もいれば、グラウンドコンディション等の関係で思うような結果が出ず、悔しさを感じた子もいましたが、それらすべてを含めて大会を楽しんでいる様子でした。また、大きな会場で他校の5・6年生と競技を通じて交流できたことに刺激を受けたという感想も聞かれました。子供たちにとって貴重な体験ができた一日となったようです。



シリーズ「教室におじゃまします」5月26日(月)6年算数科の巻

4月以来、最上級生としてますます成長を遂げている6年生です。授業中の様子も、ギュッと密度の濃い凝縮したような熱気が漂います。

この日は、分数と整数のかけ算・わり算のまとめの段階に入っていました。山本先生が黒板の横幅いっぱい教科書の計算問題を12問書きます。子供たちは各自のノートで計算を解き終えた子から次々と挙手します。余計な私語や「ハイ!ハイ!」等は言わず、素早く、姿勢よく手を挙げます。先生は次々と子供を指名し、ネームプレート黒板に位置付けていきます。こうした一連の流れがスムーズでとても大人っぽく感じられます。

「約分ができないかな、と考えながら計算するのが大事だね」とコツを皆で確認しながら答え合わせをしていきました。

後半は少し難しい文章題でした。kgとL 2つの数直線を書いて計算の

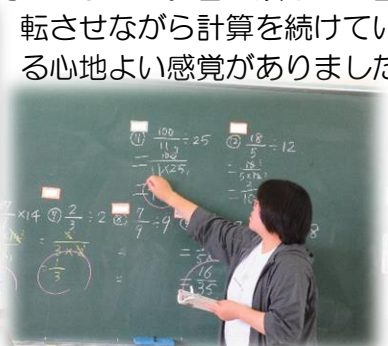
△ 3kgの米をたくのに、 $\frac{9}{2}$ Lの水を使います。

- ① 1kgの米をたくには、何Lの水が必要ですか。
- ② 6kgの米をたくには、何Lの水が必要ですか。

仕方を考えます。6kgの米を炊く水の量を、3kgの場合の2倍と考えるか、1kgの場合の6倍と考えるかで2通りの考え方がありました。前に出た子は式

や矢印等を駆使しながら考え方を説明し、「そっか!」という小さいつぶやきがあちらこちらで聞こえました。皆が頭をフル回

転させながら計算を続けている心地よい感覚がありました。



<おまけのひとりごと>昭和の伝説の国語教師である大村はま先生の言葉として次のようなものがあります。「おもしろくない話に集中することは人間として難しいことです。ましてや未熟者の子供たちが、つまらない話や何度も聞いた話を集中して聞くといった芸当ができると思うのは、人間への誤解だと私は思います。」(『大村はま講演集 上』より) …うへん、なかなか厳しい言葉ですが、真実だろうと思います。「静かに聞きなさい」「よく聞きなさい」と子供に注意するのは簡単ですが、教師としては何より「聞きたくなる話」ができるよう目指したいと思います。まずは話の内容、そして話し方、声、表情、…まだまだ日々修行が必要です。

★この「校長室だより」のカラー版は本校のホームページをご覧ください。★ご意見、ご感想などをお知らせください。お待ちしております!

校長室だよりへの感想

切り取り

できればお名前 or 児童名 ()